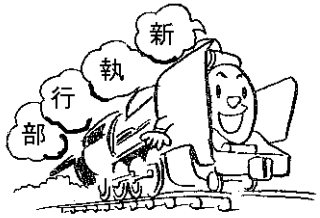
6月26日（土）Zoomを活用し開催
国土交通省管理職ユニオン全国大会

国土交通省管理職ユニオンは、6月26日（土）近畿地方整備局の会議室と地方の書記局等をZoomで結び、全国大会を開催しました。
新執行部は、7月2日（金）に代議員から郵送で送られてきた投票用紙を開票し、左記の役員が決定しました。



新執行部で2021年度も頑張ります！

2021年度中央諸役員

役　職	氏　名	支部	備考
中央執行委員長	亀井　稔	近畿	新
中央執行副委員長	近藤　敏	北陸	新
中央執行副委員長	竹井　宏和	近畿	新
中央執行副委員長	小原　良一	近畿	新
中央執行副委員長	根本　悟	地理	再
事務局長	笠井　良彦	中部	新
事務局次長	安藤　浩照	中部	再
事務局次長	星野　豊	関東	再
中央執行委員	亀田　誠	東北	新
中央執行委員	南谷　達也	北陸	再
中央執行委員	小林　治	関東	再
中央執行委員	神村　章治	中部	再
中央執行委員	大枝　千晋	近畿	新
中央執行委員	末永　敦	中国	再
中央執行委員	石川　洋	四国	新
中央執行委員	玖村　徳則	九州	再
中央執行委員	臼井　宏樹	地理	新
会計監査	磯部　征史	関東	新
会計監査	大森　徹治	中部	新

大会宣言

私たち国土交通省管理職ユニオンは、六月二六日に第二四回定期全国大会を開催した。

本大会は、コロナ禍の中において初めてのWeb方式による大会となった。全国各支部から選出された各代議員が支部単位で参加するなどリモートによる大会であったが、代議員、役員、傍聴者など四三名が参加し、この一年の活動の総括と今後の運動方針について議論を行った。

昨年九月に発足した菅内閣は、「東北新社」による接待が発端となり、首相の対応が後手に回った結果、NTTによる接待問題に広がり、国民から大きな不信を招いた。新型コロナウイルス感染症の拡大によって、暮らしや行政、日本経済は依然として困難な状況が続いている。こうした事態においても「自助」を第一に掲げる菅内閣は、緊急支援策を継続する一方で、感染防止策は活動自粛や休業要請など個人や企業等への協力要請に止まり、収束策はワクチン接種に頼るだけと緊急事態の対応に国民からの批判が蔓延している。

国土交通省は、今年度予算にハード・ソフトが一体となった防災・減災対策の推進、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている産業への対応などを重点的に取り組むとし「防災・減災、国土強靭化のための五ヶ年加速化対策」の初年度として令和二年度第三次補正予算と併せて加速化対策を取り組むこととしている。これらにより、今年度定員は、防災・減災、国土強靭化の推進など体制強化に必要な定員が認められ、昨年度に続いての純増となった。特に災害が頻発する中、その役割の期待が増している地方整備局等について昨年を上回る「三四名の純増となった。しかしながら、全国での一人出張所や空きポストは増加しており、毎日新聞に「国交省の一人出張所増加　危険水域に達した人員不足」としてネットに掲載された。

このような情勢の中、二年に一回に実施している「管理職員等アンケート」は、従来の項目から、超勤務上限規制、新型コロナウイルス感染対策等を盛り込み、全国のの職場でコロナ禍での困難な状況下において積極的に取り組み、地理支部では過去最高の集約をするなど、一、三六二名の貴重な意見等を頂いた。アンケートでは、職場の状況がギリギリで増員を求める声、コロナ禍の中で職場のコミニケーションが不足し悩みを抱えている声、いずれも早急な対応が必要な職場実態が明らかになった。全国の管理職員が同じ悩み、要求を抱えていることも明らかになった。大会においても、全国の職場から業務執行体制の実態や災害対応、コロナ禍での様々な弊害などが報告され、アンケートを通じて管理職ユニオンに寄せられた「声」を背景として、運動を進めていくことの重要性もあらためて確認された。

管理職の処遇改善では、今年度の事務所課長、出張所長六〇級の級別定数増を勝ち取っており、さらに国土地理院も含め事務所の府県単位機関への評価を認めさせる運動の強化などを確認した。

六月四日、定年延長にかかる国家公務員法等の一部を改正する法律が成立した。年金制度の課題も含め、役職定年や定員問題、再任用短時間勤務職員との混在など課題が山積みであり、処遇改善や働きがいのある業務を求める要求を強化することが確認された。

組織拡大・強化の運動では、各分会の奮闘によって機関紙宣伝をはじめとした「目に見える職場活動」が継続されており、あらためて職場活動の重要性が確認された。組織実態は、残念ながら大会現勢の回復は達成しなかったが、これら活動や要求の前進から、新たな加入者も迎え入れており、活動と要求の前進に自信を持ち、一、〇〇〇名組織建設に向け、大きな組織拡大運動を展開することを大会参加者全員で確認した。以上、大会参加者から多くの意見、課題が出され、闘う方針が補強された。

私たちは、今後一年間運動を進める基本として、①管理職ユニオン「結成の目的」の四点の実現のための「組合を徹底的に民主的に運営する「管理職員をはじめとする職員の意見を重視」などを踏まえて運動を進める。②労働強化が進む管理職員をはじめ、全ての職員が健康で活き活きと業務に専念できる職場環境を作るため、定員削減を上回る増員の確保、パワハラ・セクハラ・超過勤務上限規制の遵守など「職場環境改善」運動を実施する。あわせて、新型コロナウイルス感染対策による職場環境改善」も職場の声を反映して運動を実施する。③国民の期待に応えるため、監視、政策・提言活動を強化していく。④「職場を基礎」が基本であり、できるだけ多くの仲間との行動が重要であることから、共通する産別・国民的課題とも結びつけ共に課題実現を目指す。⑤「誰でも五五歳までに六級昇格し、多くの管理職員等の七級昇格実現」「生活と調和のとれた人事異動」等の職場要求の実現に向け交渉を実施していく。⑥要求の前進の鍵は「組織の前進」であり、組織拡大を図る必要がある。そのため職場内外に「目に見える運動」を通じて支持を拡大し、管理職組合の拡大を図っていく。⑦国家公務員唯一の管理職組合として、その責任と誇りを持ちユニオン活動を展開することを確認した。

以上の課題を前進させるため、私たち管理職ユニオンは「政策」を手に職場で働く管理職員一人一人の要求や悩みを聞き、職場要求を実現させる運動を組合員、未加入者、一般職員の多くの仲間と進め、また、共通する産別・国民的課題と結びつけ、多くの仲間と共に課題実現を目指し、この一年間運動を展開し実践してくことを確認した。

私たち管理職ユニオンは、管理職員の先頭に立ってこれらの運動を進めることをあらためて決意すると共に、ユニオン未加入の皆さんに、ユニオンへの加入を心から訴える。

右、宣言する。

二〇二一年　六月二六日

国土交通省管理職ユニオン　第二四回定期全国大会

国土交通省管理職ユニオン
2021年7月